

山家悠紀夫 『景気とは何だろうか』岩波新書 2005 年

第 2 章 景気を何でとらえるか

疑問点・論点

「なお、非製造業・中小企業のうちで業況判断 DI がその平均を下回っている業種として建設業・小売業・飲食店・宿泊がある。もっとも業況の厳しい業種である」(P71 011) とあるが、日本のサービス業は、製造業との比較だけでなく、諸外国との比較でも生産性が低いと言われており、日本の GDP を増加させるには、2017 年現在 GDP の約 7 割を占めるサービス業の成長が不可欠と言われている。

サービス業全体の生産性向上・業況改善させるには、どのような方法・策があるか？

D 班…サービス業の給料を上げる。

研修に力を入れる。

旅行者や外国人向けのサービスを向上させる。

C 班…サービスに求められる高い技術を教える質を高める。

設備投資をして、生産性を高める。

B 班…作業の IT 化。

公共設備の投資。

サービス業について学ぶ機会を設ける。

質の高いサービスには、それに相応する対価を支払う。

A 班…情報技術を取り入れ、作業効率を改善し、従業員一人ひとりが生み出すものやサービスを増やす。

外国に比べて、日本は従業員に対しての相応の評価が低いので、最低賃金などを上げるなどして、給料相応のものにすることで、従業員の労働環境を改善させる。